国際ロータリー 第2780地区

ガバナー月信

2024年5月号 No.11

2023−2024年度ガバナー 田島 敏久

世界に希望を生み出そう

RID2780地区テーマ
若者と希望:MENTAL HEALTHで和の世界を生み出そう

Rotary

湯河原RC 観光名所草刈り

小田原城北RC
創立記念社会奉仕事業 映画「二宮金次郎」上映会

足柄RC 水源の森事業

小田原RC ガバナー公式訪問 100%出席達成

箱根RC ゴミゼロキャン

小田原北RC クリスマス家族親睦会ペーン

小田原中RC 姉妹クラブ・東大阪東RCとの交流

GOVERNOR’S MONTHLY LETTER

Rotary International District 2780

2023—2024

ガバナーメッセージ

クラブ会長・幹事の皆様、そしてクラブ会員の皆様へ

国際ロータリー第2780地区
2023～24年度ガバナー
田 島 敏 久
（相模原西RC）

『青少年奉仕月間に寄せて』

次世代のリーダーを育てる。国際ロータリークラブの理念、5大奉仕の中でも青少年奉仕は12歳から18歳の青少年奉仕を対象にリーダーシップスキルを伸ばす支援をします。

育成プログラムとして、インターアクト、ローターアクト、RYLA、ロータリー青少年交換があります。RID2780では12月にインターアクトクラブの台湾研修を実施しました。

COVID-19が第2分類から第5分類に変わったとは言えインフルエンザが流行中で混合感染も心配される時でしたが、若い活力は乗り切り台湾の異文化を学び、同世代と交流しながら、リーダーシップスキルの向上を支援しました。

ローターアクトクラブ18歳から30歳までの年齢制限は撤廃。2019年7月1日より国際ロータリーの構成員です。地域社会、大学より活発な若者の活躍が望まれています。今期横須賀においてローターアクト年次総会が開催され、軍港めぐりなど、親睦交流がロータリー会員共にできました。今後は奉仕活動も同時にコラボレートできると期待します。

Rotary youth leadership awards（RYLA）は3月に厚木市七沢自然ふれあいセンターにて1泊研修が開催されました。新世代プログラムのお互いを知ろうがテーマで、インターアクト、米山奨学生学友、ロータリアンが出席してロータリアンを交え活発な交流ができました。会場のプレイホールが極寒の中、暖房がなく寒いのが厳しかったので、来期は夏季の開催が望まれます。

青少年交換プログラムとして、済州島の中学生と日本の中学生が互いに訪問することがグローバル補助金を活用して開催できた事は素晴らしい支援活動です。韓国文化、日本文化、異文化体験・交流が国を繋ぐ架け橋になるでしょう。活気ある、動きのある交流奉仕活は動動の奉仕とも言えるでしょう。

静の奉仕、日本文化紹介として仏教、神社での修行、坐禅、姿勢を正して座り精神を統一させる。自分と向き合う。自分自身の心を静かに見つめ直す事、自分の内面を見つめる。自分への奉仕ともいえます。

雲水さん、禅寺の修行僧を指す名称であるが東京南青山の長谷寺にての朝課、事始め、若い修行僧を中心に師に従い、大太鼓のリズムに乗って、般若心経、大般若経、観音経へと坊様方の唱和が静かに立ち上がっていく。男性コーラスの極みで一度聞いたら病みつきになるそうだ。何ともすがすがしい気持ちになるそうなので、このような体験も一案であろう。

・静の奉仕、動の奉仕

青少年奉仕の重要な目的として、次世代のリーダーを育成する。夢、希望を形に変え行動する若者のスキルアップを惜しみなく支援し、成長と望ましい変化を遂げられるようサポートを続ける使命こそが、ロータリアンの大事な奉仕活動といえます。

奉仕の心で結ばれた人々が世界的なネットワーク、ロータリーネットワークを通じて、国際親善、平和への道を進んで行く事を確信しましょう。

The Magic of Rotary「マジックを行動で示そう」

～佐々木ガバナー年度会長エレクト研修セミナーを終えて～

地区研修委員会　委員長　**田 中 賢 三**
(茅ヶ崎RC)

3月9日(土) 藤沢ミナパーク、欠席クラブは1クラブのみ、後日補講をもって全クラブセミナー終了となりました。準備に当たられ、また当日お手伝い頂いた方々に心より感謝申し上げます。基調講演では元国際ロータリー理事小澤一彦様の体験談に基づく貴重な且つスケールの大きなスピーチを頂き、大変参考になりました。

近年ロータリーの教育文化はTrainingからLearningへ大きく転換しようとしています。押しつけの教育から皆が意見を出し合ってより良いロータリーを推進するという方向に舵を切ろうとしています。ですから、本セミナーでは事前に各会長エレクトに、クラブ活性化のために自クラブでは次年度に何をやりたいのか考えをまとめてくるようにお願いした次第です。当日は「会長の役割と責務」と「『ロータリーのマジック』を行動で示すには」の2テーマについて意見を交わして頂きました。8分科会に分かれて有意義なアイデア交換が出来たことと思っております。近年のロータリー活動はクラブ活性化のために「ロータリーの行動計画」に沿ってやって下さいと言われておりますが、あまりクラブに明確に伝わっていないのかも知れません。現在のロータリーの行動計画（5年で見直す、戦略計画とも云う）は2019年から推奨されております。国際ロータリーではまだ理解が浸透していないと言う事で6年目の2024年7月以後もそのまま今後5年間継続するという方針が決定されました。遅ればせながらうちの地区のPETS後である4月18日・19日のクラブ活性化地域セミナー（東京ジャパンポストビル）にてより具体的な方針がポータルサイトにて示されました。以下に記載のポータルサイトQRコードを読み取って詳細を学んで頂きたく、よろしくお願い致します。

また、以下に次年度の研修委員会関係の名称変更を記しておきますので次年度から採用をお願い致します。

今年度まで	**次年度以後**
クラブ研修委員会	**クラブラーニング委員会**
クラブ研修リーダー	**クラブラーニングファッシリテーター**
地区研修委員会	**地区ラーニング委員会**
地区研修リーダー	**地区ラーニングファッシリテーター**
会長エレクト研修セミナー	**会長エレクトラーニングセミナー**
地区研修・協議会	**クラブリーダーシップラーニングセミナー**

ロータリーの行動計画
QRコード

CONTENTS

ガバナーメッセージ ………… 2
ＰＥＴＳ報告 ………… 3
第２グループＩＭ報告 ………… 4
第３グループＩＭ報告 ………… 5
ＲＹＬＡセミナー報告 ………… 6
青少年交換研修旅行 ………… 8
第９グループ・クラブ紹介 ………… 9
新会員紹介　他 ………… 13

第２グループＩＭ報告

第２グループ
ガバナー補佐　横　山　英　夫
（鎌倉RC）

「お互いのクラブを知って、つながろう！」

去る3月16日（土）鎌倉パークホテルにて、国際ロータリー2023～24年度第2グループインターシティミーティングを開催いたしました。

基調講演の講師として元RI理事 小沢一彦様に「2780地区の歴史」のご講演をいただきました。

ご来賓には田島DG・菅原PG・久保田PG・佐々木GE・松下GN・中込ノミニーディグジネイト・第1グループから第9グループの同期ガバナー補佐、第2グループの会員皆様方にご出席いただきました。

今回は「お互いのクラブを知って、つながろう！」をテーマといたしました。

第2グループは五つのクラブで構成されており、近隣のグループにも多くのロータリークラブがあり、自クラブの仲間と違った個性を持つ素敵なロータリアンが大勢います。そうした人々と交流する機会をもつこともロータリークラブの魅力の一つと思います。

ガバナー補佐訪問の際には、各クラブの活発な意見交換、考え方・特徴・奉仕活動などの実践方法を見聞し、物凄く勉強になり刺激をうけました。自クラブと私自身の新しい活動のヒントになるかもしれません。また自分自身にも大きな変化が生まれるかもしれません。

コロナ禍で、ここ数年ロータリーの事業が中止もしくは制限されていました。インターシティミーティング開催にあたり、インターシティミーティングの経験のない入会間もない第2グループ各クラブの会員で実行委員会を立ち上げ、企画・設営・運営と実行委員会を通して「お互いのクラブを知って、つながろう！」を実践していただけたのではないかと思います。

最後に矢崎実行委員長をはじめとする実行委員会のみなさま、さらに会長幹事のみなさま、鎌倉ロータリークラブのみなさまの、多大なるご協力とご支援のお陰でインターシティミーティングを終えることが出来ました。心より感謝申し上げます。

第３グループＩＭ報告

第３グループ
ガバナー補佐　**村　上　　進**
（藤沢東RC）

2024年3月17日（日）、藤沢商工会館ミナパーク6F多目的ホールにて第3グループインターシティミーティングを「震災と防災地域力」をテーマとして開催しました。

昨年9月1日は、関東大震災発生より100年目の年であります。そして今年の1月1日には、能登半島にて大地震が発生してしまいました。13年前の2011年3月11日は、宮城県三陸沖を震源とするM9.0の東日本大震災が発生し、2018年は北海道胆振（いぶり）東部地震、2016年は熊本地震など、この10数年間のうちに、数多くの大震災に見舞われました。

今回インターシティーミーティング講演会では、震災直後の自身の命を第一に「自助」、職業奉仕に照らし合わせた防災活動として「共助」、そしてこの藤沢湘南地域の防災力としての「公助」、を皆さんと共に理解共有したいと考えました。

また、ロータリー理念の職業奉仕として、ご自身の職業を通してどんな準備が可能なのか、そして、他の職業分野との連携は可能か、お互いに協力できるところないものかなどを模索し、必ず来る大震災に備えるために防災地域力を強固に発展させていく一助になればと思います。

第1部は震災と人命救助「自助」をテーマに法政大学兼任講師　防災士　正谷絵美様にご講演を頂きました。能登半島地震にも駆けつけられ、その時の画像・動画を元に地震発生した際の自身で何をすべきかご講演頂きました。1番印象的だった内容はトイレの問題です。水道が出ず地盤沈下等で下水が使用出来なくなった状況です。普段何気なく使っていますが発災すると公共施設等のトイレは汚物の山になるそうです。使い捨てトイレやビニール袋を常備する必要を感じました。

第2部は震災と職業奉仕「共助」をテーマに藤沢北西RC　花上　建一郎　会員、米山奨学生（慶応大学　修士課程）賀　彦嘉様のご講演です。花上会員は家屋調査士のお仕事をされているので地震による地殻変動で動いてしまう敷地境界について人工衛星によるGPS測量についてお話頂きました。賀さんには専攻されているAIの防災への可能性をテーマにお話してもらいました。各分野での生命、財産の守り方、防災減災を考えさせられました。

第3部は震災と藤沢市消防「公助」をテーマに元藤沢市北消防署長　北村　守良様にご講演頂きました。北村様はご本業でありましたので東日本大震災への派遣時の説明や今藤沢市が持っている消防機材のお話しを頂きました。

第1部から3部を通して防災地域力を強固にロータリークラブが自助・共助・公助、何が出来るか考える機会になったと思います。

懇親会にも大勢の会員にご参加頂き盛大に開催する事が出来ました。

結びにIMホストクラブの藤沢北西RC井上会長、伊澤実行委員長、メンバーの皆様には多大なるご尽力を賜り、心から感謝申し上げます。鈴木藤沢市長、田島ガバナー、同期ガバナー補佐の皆様、ご臨席を賜りありがとうございました。そして第3グループ10クラブのロータリー会員皆様の友情に心から感謝いたします。

セミナー

ＲＹＬＡセミナー報告

ＲＹＬＡ委員会
委員長　脇　　吉昭
（茅ヶ崎湘南RC）

2024年3月23日から24日にかけまして、一泊二日で厚木市七沢自然ふれあいセンターに於きまして、RYLAが開催されました。

昨年度、20数年ぶりに開催されたRYLAに引き続き、本年度も無事開催できましたことを地区の皆様方にご報告させていただきます。

RYLAとは、ロータリー青少年指導者養成プログラムで、RYLAは、Rotary Youth Leadership Awards の頭文字を取ってRYLAといいます。RYLAはロータリークラブ又は地区が実施し、ロータリー内外の青少年を集め、地元で活躍する人や豊かな経験をもつ人たちと一緒に、指導者を養成するプログラムです。

本年度は、「新世代プログラムのお互いを知ろう」というテーマのもと、根本的に今までの開催体系の変更をし、2780地区に参加している新世代を中心に、特にインターアクトを対象にRYLAを開催いたしました。

ローターアクト、ローテックス、米山学友・奨学生を中心に、開催プログラムの計画段階から彼らに主導権を持たせ、実行委員会組織にし、彼ら中心のRYLA開催を推進いたしました。

地区ローターアクト委員会、インターアクト委員会、そしてRYLA委員は、運営の裏方に徹し、参加者の健康面・安全面の確認を徹底いたしました。

新世代は総勢66名の参加で、田島敏久ガバナーはじめロータリアンの参加を含めると、開催時は110名くらいの方々が厳冬の七沢に参集していただきました。

資金面において、地区補助金を活用させていただくことに、御配慮、御協力いただいた地区財団補助金委員会の皆様、そして、日頃から財団に寄付をしていただいている地区内ロータリアンの皆様に、多大な感謝申し上げます。

残念なことは、青少年交換のインバウンドの皆様が、京都旅行と日程がバッティングしたため参加できなかったこと、そしてローターアクトの全国大会開催のため、計画段階から参加していただいたローターアクト代表他数名の方々

開会式集合写真

も参加できなかったことでした。

内容は非常にユニークなものが多く、アイスブレイクから始まり、新世代統一プログラムテスト、特にローテックス、米山学友の皆様に多大なご協力をいただいた外国語交流会、各プログラム対抗運動会、そしてインターアクトの3年生を送る会（三送会）などです。受講された各人が、それぞれにリーダーシップを発揮できるようなプログラムになっているところは、考えられて作られていて関心致しました。

詳しい内容に関しましては、写真も含め後程報告書として地区ホームページに掲載いたします。

≪まとめ≫

今年度は、2780地区内の新世代を対象にRYLAを開催しましたが、この開催体系に賛否両論いろいろとあると思います。とはいえ、概ね良好で無事に終了したRYLAだったと思われます。

新世代が、プログラムを行う方と受ける方に分かれましたが、年齢が近い割にはあまり溝は無くスムーズに運営でき、最後はインターアクトの皆様もRYLA終了証とバッジを掲げ、笑顔で記念撮影に参加しておりました。

課題はいろいろありますが、次年度もこのような形式でのRYLAを開催するのであれば、新世代各プログラムの日程調整を早い段階で行い、できるだけ多くの新世代プログラムの皆さんに参加していただければと思います。

回参加の新世代、特に運営に多大な御協力を頂いたローターアクトの皆様は、この結果を見て反省する点を即座に考察し、次年度も積極的な開催に向けての姿勢を見せています。本当に、当地区の新世代の皆様は頼もしい限りです。

最後に、次年度開催のRYLA委員会の皆様にエールを送り、今年度RYLAの報告とさせていただきます。

アイスブレイク

新世代統一プログラムテスト

外国語交流会

修了証書を手に閉会式集合写真

青少年交換派遣候補生 京都研修旅行

青少年交換委員会
委員長 新 井 智 代
（藤沢南RC）

3月21日～23日、青少年交換プログラムで現在第2780地区に滞在する来日学生9名（カナダ・メキシコ・ブラジル・台湾・ドイツ・イタリア・フランス・スウェーデン・デンマーク）と、次年度出発に向けて選考された派遣生9名、合わせて18名の京都研修旅行を行いました。インバウンド（来日学生）、アウトバウンド（派遣学生）が揃った旅行は4年ぶりとなり、春先でまだ寒さの残る京都も学生たちの活気で満ち溢れました。

研修旅行の目標は以下４つ

1．親善大使として、派遣国で日本の文化や伝統を紹介できるように知見を広げます。
2．団体行動の中での協調性を高めます。
3．自己表現の能力を高めます。
4．積極的に参加して自分自身で経験の楽しさを広げます。

初日は清水寺、京都御所を訪ねた後、和菓子作りの実演を見学し、祇園を散策した後、夕食は町家づくりの佳久（かきゅう）様で美しい日本料理をいただきました。

2日目は上賀茂神社・金閣寺と、王道の美しい京都を巡ったのち忍者ミュージアムで忍者体験、インバウンドの学生は大はしゃぎでした。

宿泊はびわ湖大津プリンスホテル。夕食後には付き添いのROTEX4名の主催で、「差別って何だろう」のテーマを元に2時間たっぷりディスカッションを行いました。英語と日本語が飛び交う中、自分の考えをはっきり表現できるインバウンドに対して、「差別」などほとんど感じたことのない日本人学生も、大いに刺激を受けたようでした。自分が一人海外へ飛び込んでいくのに、このままの英語力ではいけない、もっと自己表現に積極的にならなければ…、勉強しなければ…、と実感したはずです。

3日目は伏見稲荷大社を楽しんだ後、金襴緞子で有名な伴戸商店様で古帛紗（こぶくさ）作りを体験させていただきました。またこの会場をお借りして、学生は1人ずつ恒例の、タレントショーに挑戦しました。合気道・ダンス・歌など多彩な芸を披露し、大いに楽しみ笑って友情を深めることができ、3日間の研修を無事に終了いたしました。

ご協力くださった皆様、特に第2650地区各訪問先でお力添えをいただきました、京都紫野ロータリークラブの皆様に深く感謝申し上げます。第2780地区の会員の皆様には、引き続き高校生の親善大使の応援をよろしくお願い申し上げます。

クラブ紹介　　第９グループ

小田原ロータリークラブ

会長　穂　坂　　　肇

小田原ロータリークラブでは、2023-2024年度から小田原市内の相洋高校の1年全員(約500名)を対象に、職業セミナーを行っています。職業奉仕の一環として、クラブの持つ人的資源と、その職業経験を若者の将来へ還元する取り組みです。

22-23年度は、クラブから17名の講師に加え、小田原市長をはじめとする小田原市職員(保健師、学芸員、消防官)、警察官の合計22名の講師が、それぞれに教室が与えられ2コマの講義を行い、23-24年度は、クラブから19名の講師、小田原市長をはじめとする小田原市職員、自衛隊員など合計24名が、前年同様2コマの講義を行いました。生徒は、各人の興味に応じて2つの講義を選べる仕組みです。

成果として、参加した学生が地元ケーブル局で学生レポーターとして活躍したり、学校の教師からは、「22-23年度に参加した生徒の多くは、その後自分の目標が見えてきたり、将来に向かって努力を始めた者が多くなった。」とのコメントもいただいています。今後もこのような活動を通して、地域社会への貢献を継続していきたいと考えています。

講義の模様浜銀TT

講義の模様JCOM

講師陣集合

湯河原ロータリークラブ

会長　佐　藤　友　彦

湯河原ロータリークラブは、設立63年目を迎えた地域（湯河原・真鶴・熱海市泉）に根付いた奉仕活動と親睦主軸としたロータリークラブです。

会員の職業は、様々で多岐に渡り偏っておりません。例会での、各会員の意見や発言は、個性的で、新しい情報や考え方の紹介は、活発的に情報交換が行われたり、毎週、開催される例会での卓話は、会員に様々なメリットをもたらします。活動している各種委員会は、アクティブで、年度によって決まった奉仕活動もありますが、社会のクリティカルな状況に対応した活動も活発です。他のロータリークラブより会員数が少ないため意思決定が早く、奉仕活動も素早く行われます。会員同士が仲が良く和気合で、楽しいクラブライフを満喫しております。

クラブ紹介　　第９グループ

箱根ロータリークラブ

会長　勝　俣　智　行

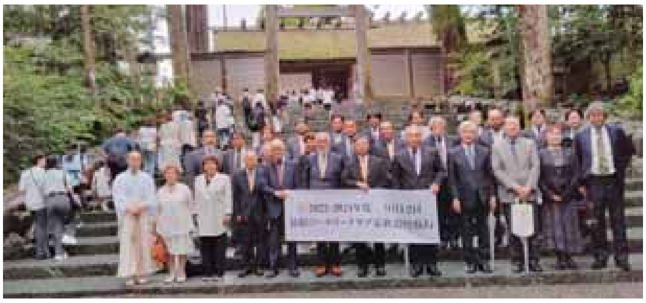
箱根ロータリークラブは、小田原ロータリークラブをスポンサークラブとして発足したクラブです。発足より六十年余りの歴史があります。例会場は宮ノ下富士屋ホテル。この格式あるホテルでの例会が、会員のステータスとなっております。

コロナ禍の不自由で制限のあるロータリー活動から、今はコロナ以前に戻り、姉妹クラブである台北大同ロータリークラブとの交流も再開、お互いの活動を報告し合い親睦も深めています。

「ポリオ根絶」を合言葉に、大涌谷での募金活動、毎年恒例の町内清掃、中学三年生に対する「テーブルマナー教室」等、町民に密着した活動も展開しています。

また、伊勢神宮への親睦旅行、クリスマス家族会など親睦行事も活発で、いつでも楽しくノビノビと活動できる雰囲気が自慢のクラブです。

ポリオ募金・大涌谷



親睦旅行・伊勢神宮

クリスマス家族会

小田原北ロータリークラブ

会長　浅　沼　賢　史

小田原北ロータリークラブは1966年に創立し、今年で58年になります。例会場は、報徳二宮神社内にある報徳会館で行っております。報徳二宮神社に祀られている二宮尊徳翁の報徳思想は、ロータリーの精神と共通する部分が数多くあり、例会は良い意味で緊張感のある雰囲気で行われています。

今年度は8月に、友好クラブである熊本県の肥後大津ロータリークラブの会員とともに、富士登山を行いました。肥後大津ロータリークラブからは、ネパール出身の米山奨学生も参加し、登山を通じ両クラブの親睦を深めました。天候にも恵まれ、無事登頂した山頂では、ロータリークラブとポリオ根絶活動のPRとして、両クラブのロータリー旗とポリオの旗を、掲げて写真を撮りました。同行していただいたベテランのガイドさんには「富士山頂でこんな大きな旗を掲げたひと達ははじめて見た」と言われ、ガイドさんのホームページにもロータリー旗を掲げた写真を載せていただきました。

肥後大津RC　懇親会

富士登山　友好クラブ肥後大津RCと

小田原城北ロータリークラブ　会長　荻野善明

　私共、小田原城北ロータリークラブは翌々年度に50周年を控え、コロナ禍によって制限されてきた活動を再稼働させるべく、「会員間の親睦あるところに奉仕は創造される」との想いから、今年度は多くの夜間例会開催を催してきました。
　職業奉仕の親睦バス旅行も上期に開催をし、また、下期には能登半島地震に係る義援金（100万円）贈呈も行いました。さらに４月の創立記念例会に合わせ、奉仕事業として地元の偉人、映画「二宮金次郎」の無料上映会に主演・合田雅吏氏を招き、前月にオープンしたばかりの街中映画館・小田原シネマ館において一般市民を招待して開催しました。
　また、現在は、50周年につながる青少年奉仕継続事業の新規立ち上げとして、少年ラグビー「小田原城北ロータリーカップ」の準備に取り組んでおります。【希望】に満ちた、【和】のあるクラブ作りに引き続き取り組んでまいります。

職業奉仕　親睦バス旅行（迎賓館）

職業奉仕　親睦バス旅行（大谷資料館）

能登半島義援金贈呈式

小田原中ロータリークラブ　会長　勝俣秀美

　小田原中ロータリークラブには、現在50名が在籍しています。そのうち7名が女性会員です。30歳代から80歳代までの幅広い年齢層の会員が、和気あいあいとなって活動しているクラブです。
　毎年の奉仕活動として、職業を通して地元社会に奉仕している人を「優良職業人」として表彰する活動などを行っています。
　昨年10月には、姉妹クラブの東大阪東ロータリークラブとの交流会を開催しました。そた時に、エンドポリオ撲滅チャリティーゴルフコンペを開催し、両クラブの参加者から寄付金を集い、寄付いたしました。
　当クラブは来年4月に創立45周年を迎えます。現在、45周年記念事業として新たな奉仕活動を模索中です。
　今後も親睦と奉仕を両立させながら、風通しの良い、継続的な奉仕活動ができる元気なロータリークラブを目指していきます。

クラブ紹介　　第９グループ

足柄ロータリークラブ

会長　関　野　五十二

1990年創立の足柄ロータリークラブは、第9グループで1番若いクラブです。

34年間の事業として、ハナミズキの植林・国際交流「米づくり」・国際交流アドベンチャー・消防自動車2台をネパールへ寄贈、コロナ禍で小学校に消毒液を寄付等の活動を実施してきました。

継続事業として、近隣1市5町の小学校へ図書寄贈、2007年より水の大切さ自然の大切さを実感してもらう為、地元中学生と共に、水源地の上流域にブナ苗木を植林する「水源の森を訪ねて」を、青少年育成プログラムの一環としておこなっております。

今年のクラブテーマ「ENJOY・ロータリー」。

近年、足柄ロータリークラブは若い会員が徐々に増えており、メンバー同士の仲も良く、楽しくクラブ運営が実行されています。

少人数クラブではありますが、将来が楽しみなクラブに変わりつつあります。

ポリオ募金

水源の森

例会風景

≪地区ホームページの活用促進について≫

地区ホームページ委員会　委員長　**義　澤　　彰**

（相模原西RC）

地区のHPは、一般の方向け用と当会員向け用と2種類あります。一般向けは、ロータリーについてや当地区内で活動している各ロータリークラブ・ローターアクトクラブの紹介、ロータリーが行っている奨学金や留学制度などについて紹介するページとなっております。

会員向けは、当地区会員が知りたい情報にアクセスし易くなるように作成しました。RI会長メッセージから始まり、ガバナー情報に地区方針、テーマロゴのDL。地区カレンダーに各地区委員会情報、地区大会・国際大会情報、各種セミナー資料のDL。

新しく会員ツールを創設し、国際奉仕リソースネットワーク・よろず相談掲示板・おなやみごと相談窓口へのアクセスも容易になりました。

また、多くのリンクもあります。ガバナー月信・ロータリー財団ハンドブック（各種資料ダウンロードから）・My Rotary（登録が必要）・ロータリーの友電子版（ID/PWが必要、半期ごとにクラブ事務局宛請求書に記載）・公益財団法人ロータリー米山記念奨学会。

HPの中にクラブ活動報告があります。ガバナー事務所宛に、行った活動のタイトル・本文・写真（4枚まで）をメールでお送りください。自クラブの活動を多くの方と共有しましょう。是非HPをご活用ください。

新会員紹介　①所属　②入会日　③職業分類　④スポンサー

佐々木　誠開（ささき　せいかい）
①相模原おださが
②2024. 02. 08
③生命保険業
④嘉藤　真弘

松浦　真也（まつうら　しんや）
①秦野中
②2024. 03. 15
③証券業
④柳原　輝人

大野　治雄（おおの　はるお）
①相模原南
②2024. 03. 05
③総合建設
④大谷新一郎、奥橋　園子

相原　直子（あいはら　なおこ）
①平塚
②2024. 03. 28
③建設業
④白石慎太郎、今村　佳広

縄嶋　智徳（なわしま　とものり）
①平塚
②2024. 03. 28
③石材業
④白石慎太郎、三荒　弘道

新谷　庄司（しんたに　しょうじ）
①藤沢
②2024. 03. 30
③保険業
④鈴木　大次

武藤　幸記（むとう　こうき）
①綾瀬春日
②2024. 04. 03
③不動産・飲食業
④笠間　博幸

志村　亜希子（しむら　あきこ）
①相模原
②2024. 04. 04
③教育コンサルタント
④沼澤　剛志

中村　洋明（なかむら　ひろあき）
①海老名欅
②2024. 04. 04
③薬局経営
④鈴木　仙一

渡邊　勝美（わたなべ　かつみ）
①藤沢
②2024. 04. 10
③とび・土工工事業
④鈴木　大次

横山　佳右（よこやま　けいすけ）
①藤沢
②2024. 04. 17
③銀行業
④川上　彰久

西川　誠志（にしかわ　せいじ）
①藤沢西
②2024. 04. 18
③市議会議員
④塩坂源一郎

訃報　ご冥福をお祈り致します

田中　道子（たなか　みちこ）（鎌　倉）
2024年３月１日逝去（享年77歳）
2003年11月18日　入会
マルチプル・フェロー２
第３回米山功労者

武藤　嘉夫（むとう　よしお）（鎌　倉）
2024年３月６日逝去（享年86歳）
2013年３月26日　入会（鎌倉北RCより移籍）
日本ロータリーハムクラブ在籍
マルチプル・フェロー４
第５回米山功労者

向井　嘉男（むかい　よしお）（大和中）
2024年３月９日逝去（享年57歳）
2019年８月１日　入会

青塚　淳次（あおつか　じゅんじ）（相模原西）
2024年３月21日（享年69歳）
2008年７月　　入会
2023～24年度 クラブ会長
ＰＨＦ+2、米山功労者第2回

萩生田　徹（はぎうだ　とおる）（横須賀）
2024年４月13日逝去（享年76歳）
1990年４月13日　入会
マルチプルポールハリスフェロー
第５回米山功労者　マルチプル

第2780地区　2024年3月末　会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数									
			3月末		年初 7月1日		本年度 入会者		本年度 退会者		本年度 増減	
			男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員
1	横須賀	2	116	17	120	16	2	1	6	0	−4	1
	横須賀北	3	20	5	18	5	3	0	1	0	2	0
	三浦	5	57	6	59	6	2	0	4	0	−2	0
	横須賀西	4	14	0	12	0	2	0	0	0	2	0
	横須賀南西	4	14	1	14	1	1	0	1	0	0	0
	横須賀RAC	2	8	1	9	2	1	0	2	1	−1	−1
	計		229	30	232	30	11	1	14	1	−3	0
	ＲＣ合計		221	29	223	28	10	1	12	0	−2	1
	ＲＡＣ合計		8	1	9	2	1	0	2	1	−1	−1
2	鎌倉	4	72	11	75	14	2	0	5	3	−3	−3
	逗子	3	40	7	39	5	5	2	4	0	1	2
	鎌倉大船	4	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0
	葉山	3	18	4	18	4	1	0	1	0	0	0
	鎌倉中央	1	17	6	20	8	0	0	3	2	−3	−2
	鎌倉RAC	2	11	8	9	6	2	2	0	0	2	2
	計		173	36	176	37	10	4	13	5	−3	−1
	ＲＣ合計		162	28	167	31	8	2	13	5	−5	−3
	ＲＡＣ合計		11	8	9	6	2	2	0	0	2	2
3	藤沢	3	40	10	41	11	5	1	6	2	−1	−1
	藤沢西	3	17	1	17	1	1	0	1	0	0	0
	藤沢東	3	30	7	29	7	2	0	1	0	1	0
	藤沢北西	2	17	2	16	1	2	1	1	0	1	1
	藤沢南	4	48	8	46	8	2	0	0	0	2	0
	藤沢南ディスカバーロータリー衛星	3	20	2	16	2	4	0	0	0	4	0
	ふじさわ湘南	4	34	1	34	1	3	1	3	1	0	0
	かながわ湘南	3	20	12	20	12	0	0	0	0	0	0
	アーカス湘南	3	3	2	3	2	0	0	0	0	0	0
	イノベーションゲートウェイ湘南	2	38	3	44	4	2	0	8	1	−6	−1
	かながわDEI	1	26	7	25	8	3	0	2	1	1	−1
	計		293	55	291	57	24	3	22	5	2	−2
4	茅ヶ崎	4	46	5	45	5	3	0	2	0	1	0
	寒川	3	38	3	35	2	4	1	1	0	3	1
	綾瀬	3	38	0	36	0	3	0	1	0	2	0
	茅ヶ崎湘南	2	42	1	42	1	1	0	1	0	0	0
	茅ヶ崎中央	4	50	2	49	2	4	0	3	0	1	0
	綾瀬春日	4	24	0	24	0	2	0	2	0	0	0
	計		238	11	231	10	17	1	10	0	7	1
5A	相模原	4	67	6	64	6	4	0	1	0	3	0
	相模原グリーン	3	44	3	44	3	0	0	0	0	0	0
	津久井中央	3	25	4	24	4	1	0	0	0	1	0
	相模原橋本	4	70	9	69	10	2	0	1	1	1	−1
	相模原ニューシティ	2	48	7	48	7	0	0	0	0	0	0
	相模原おださが	2	33	2	33	1	3	1	3	0	0	1
	相模原RAC	2	30	13	20	9	11	5	1	1	10	4
5B	相模原南	3	45	9	46	9	2	0	3	0	−1	0
	相模原中	4	27	4	28	4	0	0	1	0	−1	0
	相模原西	3	40	5	42	5	0	0	2	0	−2	0
	相模原西令和大野ロータリー衛星	2	9	3	7	2	2	1	0	0	2	1
	相模原東	2	17	3	18	4	1	0	2	1	−1	−1
	相模原柴胡	3	24	3	26	3	0	0	2	0	−2	0
	相模原かめりあ	2	28	25	22	22	6	3	0	0	6	3
	計		507	96	491	89	32	10	16	3	16	7
	ＲＣ合計		477	83	471	80	21	5	15	2	6	3
	ＲＡＣ合計		30	13	20	9	11	5	1	1	10	4
6	厚木	4	33	1	36	1	2	0	5	0	−3	0
	大和	3	35	6	35	6	2	0	2	0	0	0
	座間	4	32	3	33	3	1	0	2	0	−1	0
	大和中	3	25	1	27	1	1	0	3	0	−2	0
	厚木中	3	24	2	21	2	4	0	1	0	3	0
	大和田園	4	26	1	27	1	1	0	2	0	−1	0
	海老名	2	48	5	48	5	1	0	1	0	0	0
	海老名欅	3	35	5	33	4	2	1	0	0	2	1
	厚木県央	4	40	4	41	5	2	0	3	1	−1	−1
	本厚木	2	33	3	35	4	0	0	2	1	−2	−1
	厚木中RAC	1	4	1	4	1	2	1	2	1	0	0
	計		335	32	340	33	18	2	23	3	−5	−1
	ＲＣ合計		331	31	336	32	16	1	21	2	−5	−1
	ＲＡＣ合計		4	1	4	1	2	1	2	1	0	0
7	秦野	4	51	7	52	7	3	0	4	0	−1	0
	伊勢原	3	49	4	48	4	3	0	2	0	1	0
	秦野中	5	35	1	35	1	1	0	1	0	0	0
	伊勢原中央	3	13	0	14	0	0	0	1	0	−1	0
	秦野名水	3	15	6	15	6	0	0	0	0	0	0
	伊勢原平成	3	22	2	21	2	1	0	0	0	1	0
	計		185	20	185	20	8	0	8	0	0	0
8	平塚	4	66	5	63	6	10	1	7	2	3	−1
	大磯	2	14	2	14	3	1	0	1	1	0	−1
	平塚北	2	30	6	31	6	0	0	1	0	−1	0
	二宮	2	10	4	8	3	2	1	0	0	2	1
	平塚西	3	24	1	27	1	0	0	3	0	−3	0
	平塚湘南	3	46	7	49	9	0	0	3	2	−3	−2
	計		190	25	192	28	13	2	15	5	−2	−3
9	小田原	3	65	4	62	4	8	0	5	0	3	0
	湯河原	4	22	3	20	3	2	0	0	0	2	0
	箱根	3	35	2	31	2	5	0	1	0	4	0
	小田原北	3	25	1	25	1	1	0	1	0	0	0
	小田原城北	3	38	4	41	3	2	1	5	0	−3	1
	小田原中	3	50	7	51	7	0	0	1	0	−1	0
	足柄	3	21	1	19	1	2	0	0	0	2	0
	小田原城北RAC	0	5	2	4	1	1	1	0	0	1	1
	計		261	24	253	22	21	2	13	0	8	2
	ＲＣ合計		256	22	249	21	20	1	13	0	7	1
	ＲＡＣ合計		5	2	4	1	1	1	0	0	1	1
ＲＣ合計		67	2,353	304	2,345	307	137	16	129	19	8	−3
ＲＡＣ合計		5	58	25	46	19	17	9	5	3	12	6
総計			2,411	329	2,391	326	154	25	134	22	20	3

地区内クラブ		地区内会員総数（人）	
RC	67	RC	2, 353 (304)
RAC	5	RAC	58 (25)

(　) 内は女性会員

本年度入会者数（人）		本年度退会者数（人）		本年度会員数増減数（人）	
RC	137 (16)	RC	129 (19)	RC	8 (−3)
RAC	17 (9)	RAC	5 (3)	RAC	12 (6)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

2023～2024 Governor

Toshihisa Tajima

■*OFFICE／Aizawa Bldg. #1, 5F,*
22-7-501 Minami-Fujisawa,
Fujisawa-city, Kanagawa
251-0055 JAPAN
Tel:+81-466-25-8855 Fax:+81-466-25-8866

2023～2024年度ガバナー

田島　敏久

■事務所／〒251-0055
藤沢市南藤沢22-7-501 第一相澤ビル5階
Tel：0466-25-8855　Fax：0466-25-8866
E-mail：g-office@rid2780.gr.jp
URL：https://rid2780.gr.jp

世界に希望を生み出そう